

## 畜舎のネズミ対策をしましょう！

畜舎に棲みついたネズミは、飼料の食害、電気配線の咬害による停電・火災、病原体の伝播等、様々な被害をもたらします。駆除には時間がかかりますが、根気よく続けることで数を減らすことができます。

### 1 殺鼠剤を用いた対策

#### (1) 殺鼠剤の種類

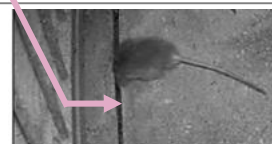
- **急性毒殺鼠剤**：食べてから短時間で死亡しますが、ネズミが警戒して食べない可能性があるため、使用前に**専用無毒餌（薬品成分を除去したもの）**で1ヵ月程度餌慣らしを行うとより効果があります。
- **慢性毒殺鼠剤**：4～5日間連続で摂食した後、1週間～10日間ほどかけて徐々にネズミが衰弱し死亡するのでネズミに警戒されにくい殺鼠剤です。しかし、一度に大量のネズミを駆除することが困難であることに加え、繰り返しの使用で殺鼠剤への抵抗性を生じる可能性があります。

#### (2) 殺鼠剤による駆除の手順

**ネズミはわずかな隙間からでも侵入します！**

##### 1 移動経路の把握

①糞のある箇所②壁や配管のかじり痕③侵入可能な隙間等を確認した後、畜舎の図面上に落とし、ネズミの移動経路を推測します。



##### 2 集中的な駆除 【急性毒殺鼠剤】

移動経路上の隙間・物陰・壁際・天井裏等に**急性毒殺鼠剤**の専用無毒餌を設置し、餌慣らしを1ヵ月間実施します。**無毒餌の8割程度を食べるようになったことを確認した後**、急性毒殺鼠剤に切り替えます。

##### 3 定期的な駆除 【慢性毒殺鼠剤】

**慢性毒殺鼠剤**を1ヵ月に1度使用して生息数を徐々に減らします。餌に混ぜる方法と、ネズミの身体に付着させることを目的に移動経路に散布し、毛づくろいにより摂取させる方法があります。

**!** 殺鼠剤を取り扱う際には**手袋やマスク**を使用し、**家畜が摂食しない場所に設置**しましょう！

### 2 その他の対策

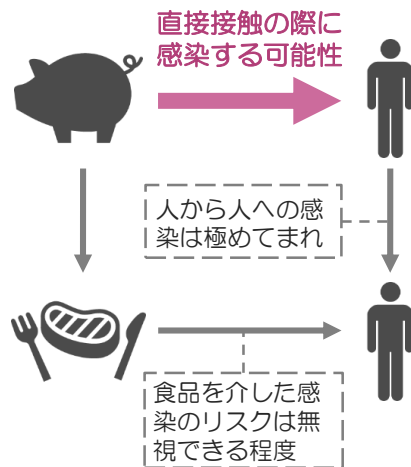
(1) **環境整備**：ネズミの巢の材料となる不要なビニール、紙類、コンテナを片付け清掃します。加えて壁の穴や隙間を防鼠パテや金網（網目1cm以下）で塞ぎ、畜舎への侵入を防止します。

(2) **粘着板の設置**：ネズミの通り道や営巣場所付近に設置します。**市販のネズミ誘引剤や、使用していない電線を短く切ったものを粘着板の上に置くと、捕獲率が向上**します。

# 豚由来MRSAの拡散・感染の防止について

## MRSA（多剤耐性黄色ブドウ球菌）について

MRSAとは、人の皮膚等に常在している黄色ブドウ球菌のうち、様々な抗菌薬が効きにくくなったもの（薬剤耐性菌）を指します。一般的に、健康な人や豚に感染しても病気を発症することはありませんが、抵抗力の弱い人（新生児、高齢者等）に感染すると、肺炎や敗血症等を発症する可能性が高くなります。MRSAに感染した場合には、各種抗菌薬が効きにくいいため治療が困難となり重症化するケースがあります。また、人だけでなく豚もMRSAを保菌していることがあることから、保菌している豚と直接接触した際には、人がMRSAに感染する可能性があります。そのため、MRSA保菌豚を増やさない対策と、人への感染を防止する対策が必要です。



## ☆MRSA保菌豚を増やさない対策

豚由来のMRSAはテトラサイクリンや亜鉛に抵抗する性質を持っています。薬剤の不適切な使用（過剰投与等）によりMRSAは増殖するので、テトラサイクリン等の抗菌薬は治療薬として、亜鉛は栄養成分として、必要最小限の使用に限定することが重要です。

## ☆人へのMRSA感染を防止する対策



定期的に石けんで手を洗いましょう。特に、飲食前、喫煙前及び農場からの出場前には必ず手を洗いましょう。



切り傷や擦り傷は耐水性の手袋等で保護しましょう。



農場では専用の衣服や長靴を着用しましょう。



農場内で着用する衣服は農場内で洗濯しましょう。難しい場合は密閉袋に入れて持ち出し、他の衣類とは別に洗濯しましょう。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月日
口蹄疫（FMD）	O型	インドネシア	不明	令和4年
アフリカ豚熱（ASF）		ロシア（32件）	豚・野生いのしし	令和4年7月25日
		韓国（1件）	豚	令和4年8月18日

令和4年(2022年)9月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

